❶一般会計とは？

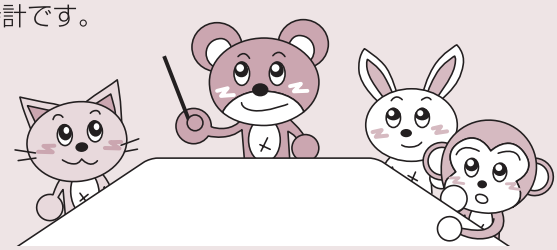
市を運営する上で中心をなす経費を計上している会計です。例を挙げると、道路や橋を建設する、学校校舎を造る、ごみを収集する、保育園や幼稚園を運営するなど、最も大きなお金が出入りする会計です。

❷特別会計とは？

一般会計に対して、保険料や使用料といった特別の収入がある、また一般会計から切り離すことで、経理上その内容がはっきりするため設けられているのが特別会計です。

❸公営企業会計とは？

民間企業と同じように、事業で収益をあげて、経理をまかなう会計です。



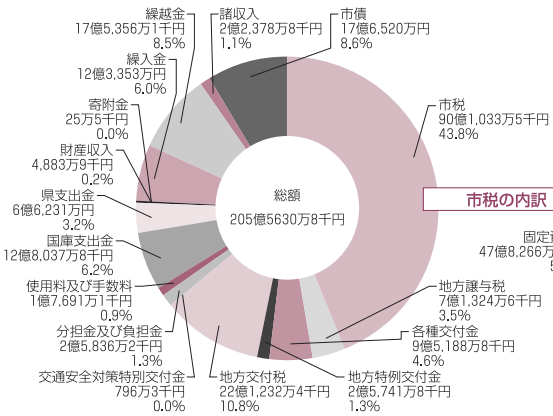
基金

会計	基金名称	平成18年度末現在高
一般	財政調整基金	45億7,500万円
	市債管理基金	3億7,698万円
	土地開発基金	4億3,695万円
	国保高額医療費貸付基金	1,366万円
	地域福祉基金	7億3,822万円
	育英基金	1,124万円
	アジアまなびや基金	3,400万円
	物づくり・発明支援基金	2,438万円
	クリーンセンター管理基金	2億1,140万円
	地域振興基金	26億428万円
	市営住宅整備基金	4,161万円
住宅貸付	住宅新築資金貸付基金	279万円
農業公園	農業公園整備基金	3億5,804万円
国保	国保保険給付支払基金	5億3,982万円
介護	介護給付費準備基金	1億1,354万円
下水	下水道事業基金	1億7,751万円
合計		102億5,941万円

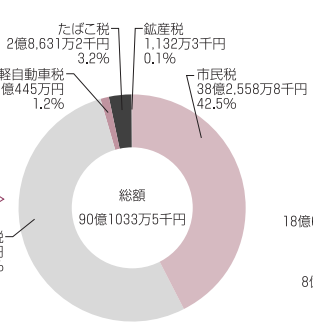
市債

区分		平成18年度末現在高
一般会計		184億7,798万円
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	1億3,253万円
	農業集落排水事業	20億1,519万円
	公共下水道事業	161億7,296万円
水道事業会計		68億6,220万円
合計		436億6,085万円

一般会計歳入内訳

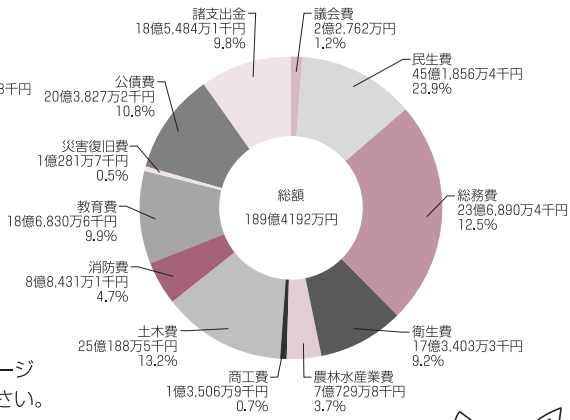


市税の内訳



詳しい内容は、いなべ市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

一般会計歳出内訳



いなべ市の収入はどうなっているの？

一般の家庭では、給料が主な収入だよね。市では、市税がこれにあたるんだ。そのほか、市税だけではやっていけないので、国や県から援助を受けたり、金融機関からお金を借りたりしてやりくりしているんだよ。景気が悪くなると市税は減ってしまうし、国や県からの援助もいつまで続くかわからないから、収入に応じたお金の使い方を考えていかないといけないんだよ。

どんなことにお金が使われているの？

一般家庭の食費や医療費、借入金の返済にあたる、人件費や扶助費、公債費など、なかなか減らせない費用が35%あるんだよ。これらの費用が増えると自由に使えるお金が減ってしまうんだ。他にも家の増改築や生活費などにあたる、道路・学校などの建設や維持管理のためにも多く使われているんだ。

本当に必要なものは何かをよく考えて節約しなくちゃいけないんだよ。

市税って？

市税には、市民のみなさんや市内に事務所のある企業の方から納めてもらう市民税や、建物や土地などの価値で納めてもらう固定資産税のほか、軽自動車税、市たばこ税などがあるよ。

地方交付税って？

全国等しく行政サービスが受けられるように、国から渡されるお金です。各市町村の財政状況によってもらえるんだけど、三位一体の改革などで年々減ってきてるんだよ。

人件費って？

正規職員の他、市長や副市長、市議会議員の給与、各委員や消防団員の報酬などが含まれているんだよ。

公債費って？

市が借りたお金と利子の返済に使うお金のことだよ。

物件費って？

電話代や郵送代などの通信運搬費や、仕事をするのに必要な消耗品を買うお金のことだよ。

扶助費って？

生活困窮者や高齢者、身体障がい者のみなさんの生活を守るために支払われるお金だよ。

補助費って？

各種団体の活動などを補助するために支払われるお金のことだよ。

問員弁庁舎 政策課 T74-5819 F74-5851

問=問い合わせ先 T=TEL F=FAX